

尾

瀬

尾瀬は東西6km南北2km、本州でも最大規模の高層湿原です。6000、7000年もの長い年月をかけて湿原が作りだされました。湿原内には木道やベンチなどが整備されており、希少な自然を間近に愛でながら、ゆったりと散策を楽しむことができます。よつになつていきます。

木道

昭和30年以前の尾瀬では登山者が自由に湿原を歩いていました。しかし、ぬかるんだ湿原は非常に歩きにくいので、木を切って湿原に敷いたのが木道のはじまりでした。湿原を守るために木道整備がすすめられ、現在では尾瀬全体の木道は総延長が約57kmにもなります。環境省、群馬県、福島県、東京電力がそれぞれ担当する木道の整備・点検を行い、尾瀬の自然を守りつつ、その自然を楽しめるよう取り組んでいます。

平ヶ岳

新潟県と群馬県の県境にある日本百名山の一つです。なだらかな草原状の山頂からは燧ヶ岳、景鶴山、至仏山などの尾瀬の山々が眺望できるのが特徴です。山頂付近には、ひとつの花崗岩が風化されて残った卵形の珍しい巨石「玉子岩」があります。ここからはハイマツが生え、湿原に地澮が点在する景色が見られることも魅力とされています。

三条ノ滝

高さ100m、幅30mに及ぶ大瀑布です。平滑ノ滝の少し下流にある壮大な滝で、登山道から少し下ったところにある展望台からその姿を間近に見ることができます。尾瀬に降った水が全てこの滝に集まるため、尾瀬のイメージとはまた違った豪快さを感じることができます。特に雪融けの時期は水量も多く、流れ落ちる様は圧巻です。

尾瀬の位置

